

第五福竜丸平和協会 平成 28 年度事業計画

開館 40 年を迎え、ビキニ水爆実験・被災事件、核の被害と核問題を伝える第五福竜丸の保存・展示と展示館の存在を発信する取り組みをすすめる。一昨年のビキニ水爆事件・第五福竜丸被ばく 60 年事業を継続発展させる取組をすすめる。

公益目的事業の要としての第五福竜丸展示館業務

- ・開館日は 308 日
- ・学校見学・市民グループなどにたいするガイド・解説、来館者にたいする見学サポートなどにとりくむ
- ・来館者増加のための広報活動にさらにとりくむ

企画展（展示替等）のとりくみ

- ・開館 40 年 その歩みをたどる「写真でたどる第五福竜丸展示館 40 年」展の開催、5 月から 9 月にかけて
- ・来年が第五福竜丸建造 70 年【古稀】にあたるため、秋の企画展は木造船、漁師、マグロ漁などに焦点を当てた企画展を開催、11 月から 3 月

船体・エンジンの現状および今後のためにとりくみを継続する（昨年末に作業チームを編成、本年は作業を開始する）

展示館の経年劣化に対する改修の取り組み、都への要請 来年度の展示館の改修に関して実施の方向がだされ、昨年度から展示館の不具合などの点検・調査がおこなわれている。今年度は引き続き補修箇所、補修方法などについて都の検討作業を踏まえながら協会としての意見提出や要請をすすめる

開館 40 周年の記念事業

——この 40 年のあいだに展示館を訪れた方がたが再び来館し、「思い出の展示館」と今日の目で見える展示館など、市民の思い出や感想、意見を綴っていただく企画、広報をすすめる…「わたしと展示館」企画の検討。

- ・記念会の実施 5 月 29 日【日】午後におこなう
- ・記念冊子の出版
- ・企画展【上記】などをおこなう

来館者増加のとりくみ 賛助会員・ニュース会員の拡大

各地での第五福竜丸パネル展、マーシャル諸島の核被害展などをよびかける

出版事業

- ・2020年東京オリンピック開催に向けて、第五福竜丸展示館の広報宣伝や展示解説などの多言語化【英語、韓国語、中国語など】の作業をすすめる。当面、ホームページの英語化をすすめる。
- ・新パンフレットの製作、出版企画、子どもから大人までを対象にした新規の企画を検討する。
- ・ビキニ事件、太平洋核実験等に関する資料収集、調査・研究を専門委員や各分野の研究者などと協力・協働をすすめる。
- ・60年事業の出版および市民講座の記録資料集（明治学院大学国際平和研究所と共同出版）をすすめる。